

北海道離島航路確保対策協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

羽幌港と焼尻島(264人)、天売島(363人)を結ぶ離島航路(羽幌～天売航路)は、他に島を結ぶ航路がない唯一の航路である。本航路は各離島住民にとっては、通院、生活物資及びごみ処理、し尿処理車輛の輸送等においてなくてはならない生活の足である。

通院等においては、本土の羽幌町の病院及び歯科医院へ通院しており、本航路の利用が不可欠となっている。

しかしながら、離島住民の人口は年々減少するほか、島を訪れる観光客も減少し、航路利用者も大幅に減少しているのが現状である。このような状況の中で、事業者が単独で引き続き航路維持をしていくことは困難な状況にあり、その維持には公的支援が必要な状況にある。

羽幌町(天売・焼尻)生活交通ネットワーク計画の目標・効果

本航路は、利用者が年間約37千人であり、うち島民が約8千人、その他観光客等である。毎年利用者数が減少する中で、以下のような取り組みについて各関係機関が連携しながら、利用増を図り、欠損増加の抑制に努める。

- ・自然体験の学習を目的とした利用者の誘致や学生や家族割引の実施
- ・天売島のウニ、焼尻島のサフォークめん羊、羽幌町の甘エビなど地域の味覚を活かした観光イベントとの連携による利用客数の向上
- ・フェリー乗船割引特典付きの管内バス乗り放題周遊券(フリー切符)の販売
- ・天売島の海鳥の写真撮影など、体験型ツアーの開発・実施

また、老朽化が進む現在就航中の高速船を効率化船舶(10%以上の小型化)へ代替建造し、平成25年4月から運航することにより、船舶の修繕費及び燃料費の経費抑制が見込まれるほか、この新高速船について各種の広告宣伝を実施するなどにより、一般利用客(観光客)数の低減に歯止めがかかることを期待しており、就航後(平成25年4月～8月)は、従前の高速船の計画値よりも4%の増を目標とする。

平成25年度事業概要

天売島・焼尻島両島の本土とを結ぶ唯一の交通手段であり、町民の通院や買い物、両島での公共工事関係者や観光客が主な利用者となっており、閑散期(9/1～5/31のGWを除く)においては1日1便、繁忙期(6/1～8/31)においては1日最大6便の運航をすることとしている。

地域公共交通の現況

- ・沿岸バス(株)(町内3路線、札幌1路線)
- ・本離島航路のみ

北海道離島航路確保対策協議会開催状況

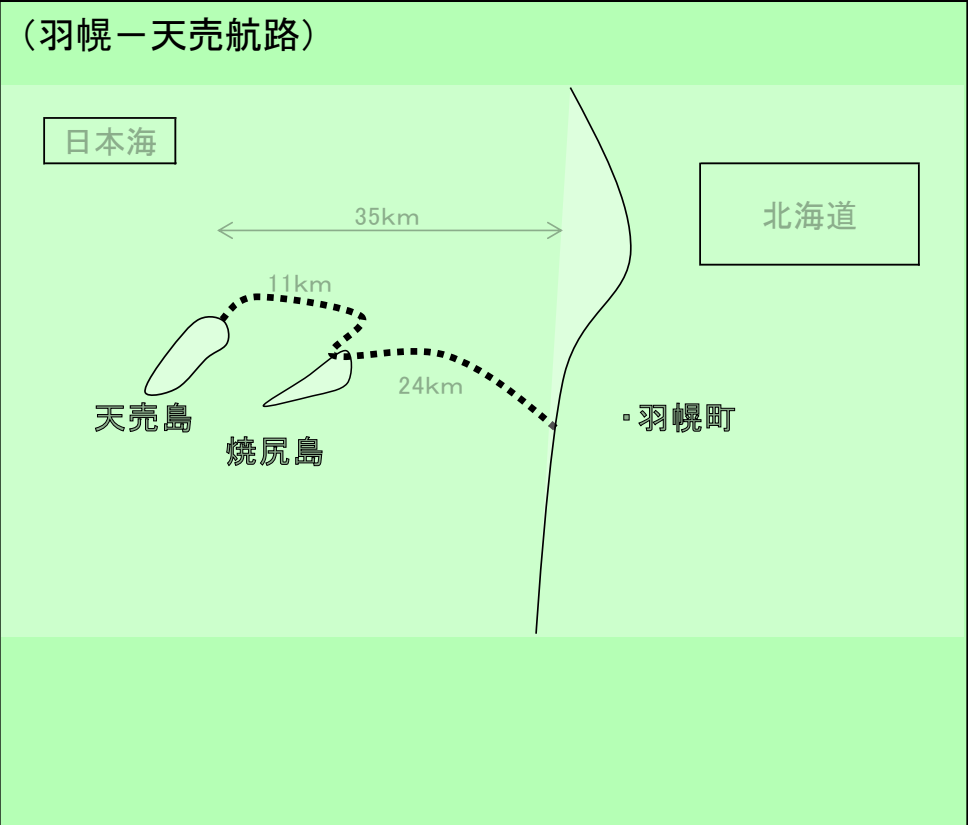
平成25年4月22日 第1回協議会を開催
(主な協議事項)
地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

平成25年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ① 船舶修繕工事について、費用削減効果を見込み競争入札を導入した。
- ② 取引金融機関を1社から2社にすることにより、借入れの利息を低減し営業費用を削減した。

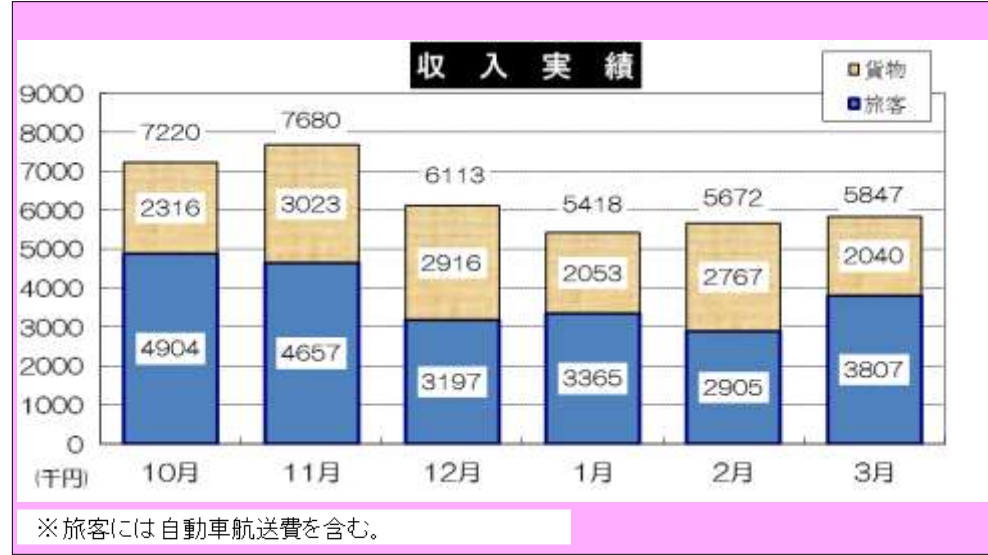
2) 運航ルート



3) 利用実績(平成24年10月～平成25年3月)



4) 収入実績(平成24年10月～平成25年3月)



5) 事業実施の適切性

羽幌～天売航路については、悪天候による欠航があったものの、事業は運航計画に沿って適切に実施されている。

6) 目標・効果達成状況

H24.10～H25.3までの旅客輸送は目標値4,675人(31,805人/年間)に対して4,504人であった。また、貨物輸送は目標値1,664トン(3,902トン/年間)に対して1,726トンであった。

目標値の達成状況は、旅客は悪天候による欠航(昨年37日⇒今年58日)が影響し、目標をやや下回った数値となったが、貨物は公共工事の資材輸送等により目標をやや上回った数値となった。

また、H24.10～H25.3までの運賃収入は、旅客(自動車航送運賃を含む)は、目標値21,408千円(104,520千円/年間)に対し22,835千円、貨物は目標値14,137千円(34,995千円/年間)に対して、15,115千円となっており、収入総体としては目標を達成している。

7) 事業の今後の改善点

観光客の誘致や貨物輸送の増加に向け、羽幌～天売航路協議会(北海道留萌振興局所管)や羽幌町、羽幌町観光協会などと、自然体験の学習を目的とした利用者の誘致や学生、家族割引の実施、地域の味覚を活かした観光イベントとの連携、フェリー乗船割引特典付きの管内バス乗り放題周遊券(フリー切符)の販売、体験型ツアーの開発・実施について、十分連携した取り組みを推進する。

その他、運航事業者の取り組みとして、平成25年4月の新ターミナルへの移転及び新造船の導入を機に、町と協働した運賃割引や旅行商品の企画を行い、利用増を図るとともに、今後、一層の経費節減を行い、欠損額の圧縮に努めていく。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

羽幌～天売航路は、焼尻島及び天売島に在住する離島住民にとって唯一の生活交通であり、気象条件の悪化による欠航はあったものの、安全運航に配慮しながら運航計画に沿った運航がなされており、運航事業者自らも経費の削減に努め、適切に事業の実施が図られている。

本年4月には、バリアフリーにも配慮した新しいフェリーターミナルの竣工及び新高速船が就航し、これからの繁忙期には新高速船の就航を記念した運賃の割引や企画旅行の実施、地域の味覚を活かしたイベントとの連携等、関係者が協力した取り組みの実施が予定されているが、収支の改善を図るには、これらのツールをいかに乗船客数の増加につなげていくかがポイントであり、関係者間の更なる連携に期待する。